

# 52 2018年度・新聞報道記事 I

## 「車いす目線から巡る七尾の旅 2017 in 和倉温泉」

### 和倉温泉の旅 冊子が完成

# 車いす目線で和倉の旅冊子

七尾市の車いす利用者が、自身の目線から見た同市の和倉温泉の鉄道駅や旅館を写真に収め、冊子にまとめた。男性は「車いすを利用する人から見た現状を知ってほしい」と話しており、市内各地に配布するという。（松村真一郎）



車いす利用者の目線で旅行冊子を作製した桶屋善一さん（左）と七尾市青山町で

## 施設入所者が取材、作製

生後間もなく脳性まひに  
かかり、手足や言語に障害  
がある桶屋善一さん（左）  
が、「車いす目線から巡る  
七尾の旅 二〇一七年の旅  
編 in 和倉温泉」という  
タイトルで、A4サイズ四  
十四ページの冊子を作製した。  
取材したのは、昨年五  
月。和倉温泉駅や共同浴  
場、旅館を巡った。車いす  
に設置したデジタルカメラ  
で、バリアフリー箇所や道  
中、旅館内を桶屋さんと同  
行した介助者が撮影した。  
駅のホームから線路を渡る  
ためのスロープや、車いす  
で利用できる旅館の客室内  
などを紹介している。  
桶屋さんによると、駅前  
のスロープは使いやすかつ  
た一方、駅内の多目的トイ  
レは便座が低いのが気にな  
った。注意点も盛り込み、  
車いす利用者が旅行時に役  
立つ内容になっている。読

## 駅などに配布「バリアフリーまだまだ」

み手を意識して、入所する  
同市青山町の障害者支援施  
設青山彩光苑の職員と考  
えてレイアウトも工夫した。  
印刷業に以前から興味があ  
った桶屋さんは、三年前  
から同様の目線で七尾の街  
中を見た冊子作りを始め、  
今回が三冊目。百部を作製  
し、今後はJR七尾駅や同  
駅前の複合商業施設「ミナ  
クル」、市役所などに配布  
する。十三日にミナクルで  
開かれる七尾市民健康福祉  
まつりでも、写真を展示す  
る。  
知人に校正をしてもらっ  
たり、富山市にある障害者  
の自立生活支援センターに  
印刷や製本をしてもらった  
りと、「皆さんの協力のお  
かげで作ることができた」  
と振り返る。  
「バリアフリーがまだま  
だ遅れているところもある  
ということを、冊子を通し  
て知ってほしい」と話して  
いる。

